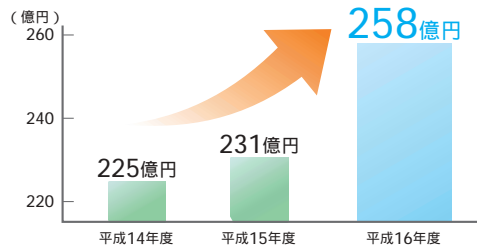


# 京葉銀行は、健全で透明性の高い経営のもと、お客様のニーズに沿った商品・サービスを展開しています。

## 好調です！ 営業成績。

平成16年度の当行のコア業務純益は258億円。ここ数年間、順調な伸びを示しており、健全な経営を行っています。

### コア業務純益の推移

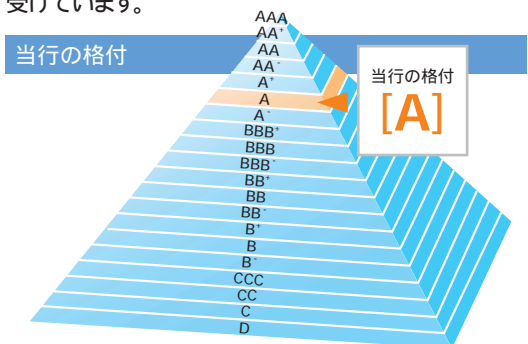


コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

詳しくは P.7へ

## 安定した評価で、高い格付け。

株式会社日本格付研究所 (JCR) による格付けは「A」(平成17年3月31日現在)。安定した評価を受けています。



### 格付とは？

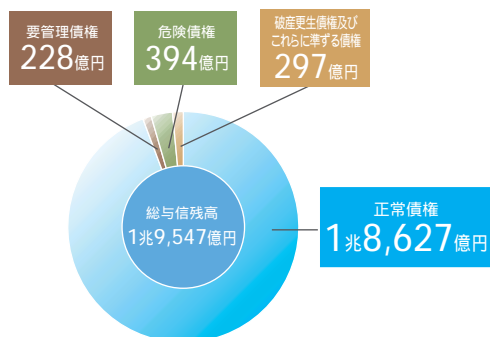
第三者の格付機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。銀行の選定や企業へ投資するときなどの指標として利用されています。

詳しくは P.6へ

## 万全を期した不良債権対策。

不良債権への対策として当行では、前もって担保等によってカバーしている分があり、さらに予防措置として貸倒引当金を計上し、万全を期しています。

### 金融再生法基準の開示債権



詳しくは P.25へ

## 安全・便利なATM。

金利がおトクになったり、お取引状況によって時間外手数料が無料になるなど、当行のATMにはおトクとベンリがいっぱいです。

ATMで個人向け国債が購入できます。

ATMで定期預金を積むと金利が0.02%おトクです。

お取引状況によって時間外手数料が無料または半額になります。

全国の提携金融機関、郵便局で使えます。

全国のコンビニエンスストアで使えます。

(ATMマークがあるお店が対象です)

ATMでのキャッシュカードのご利用限度額設定を可能にする予定です。

キャッシュカードの暗証番号の変更ができます。

その他、サービス盛りだくさん！

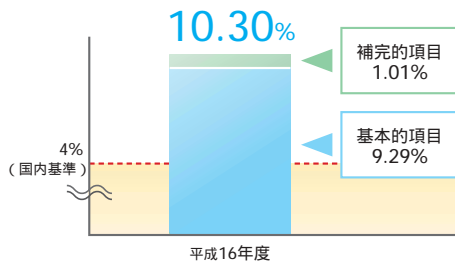
「安全」の詳しくは P.10へ

「便利」の詳しくは P.18,41へ

## 基準をはるかに上回る自己資本比率。

当行の自己資本比率は10.30%(平成17年3月期)。拠点を国内に限っている銀行の基準である4%をはるかに上回っています。

### 自己資本比率の内訳



**基本的項目とは?** 資本金・剰余金などの、本来の自己資本のこと。

**補完的項目とは?** 一般貸倒引当金・土地の含み益の一部など。

詳しくは **P.7** へ

## バラエティに富んだ商品・サービスが充実。

お客様の幅広いニーズにお応えする商品やサービスを取り揃えています。

### 貸金庫の指静脈認証システム

...安全重視の画期的なシステムです。

**株主優待定期**...当行株式を1千株以上所有のお客様に金利がおトクになる商品です。

その他にも、たくさんの商品、サービスをご用意しています。

「貸金庫」の詳しくは **P.10** へ

「株主優待定期」の詳しくは **P.14** へ

## C O N T E N T S

<b>1</b>	<b>BANKの取組み</b>
	当行のプロフィール ..... 1 ごあいさつ ..... 2 平成16年度決算概要(単体情報)..... 5 地域への貢献 ..... 9 信頼をより一層深めるために ..... 25
<b>2</b>	<b>ご案内</b>
	商品・サービスのご案内 ..... 31 あゆみ ..... 42
<b>3</b>	<b>BANKデータ</b>
	役員・従業員 ..... 43 京葉銀行組織図 ..... 44 関連会社 ..... 45 ネットワーク ..... 46
<b>4</b>	<b>資料編</b>
	業績・財務データ ..... 50 さくいん ..... 85 決算公告 ..... 86

# ●平成16年度決算概要(単体情報)

## 経営成績

当行は大胆なビジネスモデルの転換を図りつつお客様の利便性を最優先に様々な施策を実施してきました。特に平成16年4月には、狭域高密度営業を行うため、従来の母店子店制を廃止し、10カ店の個人特化店をスタートさせました。また、平成17年2月には、金融サービス窓口の機能発揮のための新たな

モデル店舗として旧市原支店の移転新築を行い、同時に名称を「五井支店」に変更しました。一方、厳格な自己査定を実施し、所定の引当金処理を行いつつ業績の向上に努めた結果、当期は経常利益、当期純利益とも過去最高益となりました。当期の経営成績につきましては以下の通りです。

### 主な経営指標の推移

(単位:百万円・千株・人・%)

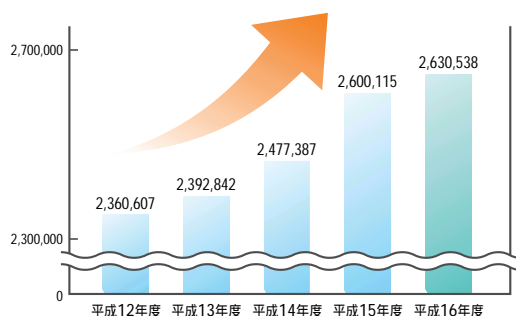
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
経常収益	73,824	70,861	64,382	63,987	66,086
業務純益	24,519	20,531	26,673	25,315	29,021
コア業務純益	22,785	22,807	22,584	23,183	25,870
経常利益	6,112	42,396	7,193	12,077	20,605
当期純利益	2,320	25,837	2,609	5,800	11,468
資本金	49,759	49,759	49,759	49,759	49,759
発行済株式総数	290,855	290,855	290,855	290,855	290,855
純資産額	147,952	117,017	117,559	126,751	143,898
総資産額	2,627,021	2,633,284	2,678,107	2,808,205	2,848,703
預金残高	2,360,607	2,392,842	2,477,387	2,600,115	2,630,538
貸出金残高	1,960,049	1,952,092	1,904,243	1,895,164	1,920,481
有価証券残高	372,267	415,673	374,934	609,656	734,053
従業員数	2,066	2,014	1,947	1,931	1,900
単体自己資本比率	9.46	8.35	8.87	9.41	10.30

(単位:円・%)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
一株当たり純資産額	508.68	405.97	408.59	440.65	497.12
一株当たり配当額	5.00	5.00	5.00	5.00	5.50
一株当たり当期純利益	7.98	89.17	9.06	20.16	39.62
配当性向	62.67	-	55.14	24.79	13.88

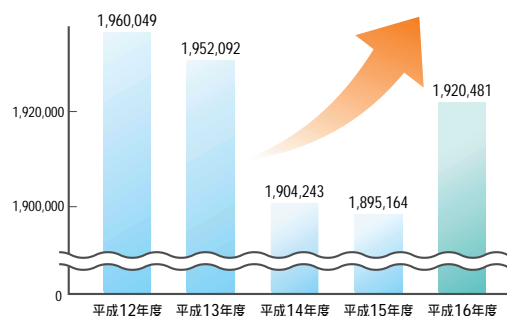
### 預金残高

(単位:百万円)



### 貸出金残高

(単位:百万円)



## 営業の概況

営業の概況については以下の通りです。

### 預金について

残高は順調に推移し、平成17年3月末残高は2兆6,305億円となり、16年3月末に比べ304億円の増加となりました。また、個人向け国債、投資信託や年金保険

等の金融商品販売が順調であったことにより、個人預り資産は16年3月末に比べ1,443億円増加し、2兆3,639億円となりました。

### 貸出金について

企業向け融資の発掘に取組んだ結果、「BANKビジネスローン」や千葉県信用保証協会と提携した「ダッシュ5,000」「スパート3,000」などの中小企業向け

新商品が好調に推移しました。その結果、貸出金残高は平成16年3月末に比べ253億円増加し1兆9,204億円となりました。

### 損益について

有価証券の積極的な運用により、有価証券利息配当金の増収が図れた結果、資金収支は平成16年3月末に比べ増収となりました。併せて金融商品販売の順調な拡大により、役務収支も平成16年3月末に比べ大幅な増収となったため、本業の儲けを示すコア業務純益は平成16年3月末に比べ26億円増の258億円となりました。

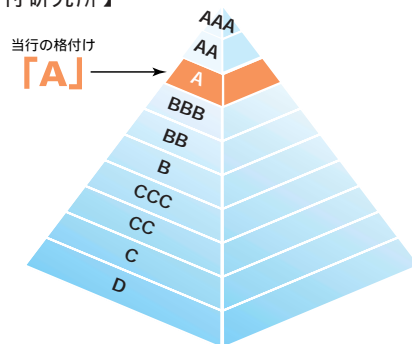
一方、不良債権処理費用は57億円と、平成16年3月末に比べ54億円もの大幅な減少となりました。この結果、経常利益は平成16年3月末に比べ85億円増の206億円、当期純利益は、平成16年3月末に比べ56億円増の114億円となり、コア業務純益、経常利益、当期純利益とも過去最高益となりました。

### 格付け機関による当行の評価

株式会社 日本格付研究所の格付けは、平成17年2月に「A」(長期優先債務格付け)に引上げになりました。世界三大格付け会社の1つ、スタンダード&プアーズも、平成

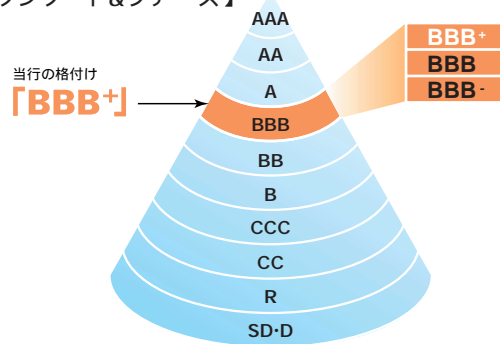
17年6月に、格付けの引上げを実施しており、「BBB+」(長期カウンターパーティ格付け)となりました。

【株式会社 日本格付研究所】



AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、「+」もしくは「-」の符号による区分があります。

【スタンダード&プアーズ】



AAからCCCまでの格付けは「+」記号または「-」記号を付加することがあり、それぞれ、各カテゴリー内での相対的強さを表します。

### 用語解説

#### 格付け

株式会社日本格付研究所やスタンダード&プアーズなど、第三者の格付け機関が、銀行や企業の「安全度」をアルファベットを使って表したものです。銀行の選定や企業へ投資をする時の参考指標の1つとされることがあります。

#### 長期優先債務格付け

長期優先債務(債務の弁済順位において他の一般債務よりも劣後しない長期の期限付き債務)の履行の確実性について、現時点での評価を示すものです。

#### 長期カウンターパーティ格付け

長期カウンターパーティ格付けは、発行体格付け(債務者が債務を履行する総合的な能力(信用度)について、現時点での評価を示すもの)の一部。長期の信用度を表します。

# 第11次中期経営計画を振り返って

当行では、平成15年度及び16年度において金融庁の「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に対応した第11次中期経営計画「SUPER Plan 2005 Phase ～変革と集中のベストプログラム～」を策定し、コア業務純益250億円、自己資本比率9.5%程度、不良債権比率6%以下など

の目標を掲げ、地域経済や社会に貢献できる高い収益性と健全経営に立脚した地域のベストバンクを目指してきました。

着実に推進した結果、計数計画は、高いレベルで達成することができました。

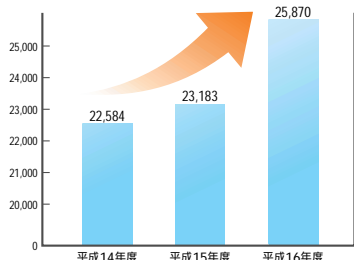
「リレーションシップバンキングの機能強化計画」期間中の業績推移

(単位:百万円)

項目	平成15年3月	平成16年3月	平成17年3月	第11次 中計目標	
				対平成15年3月	
経常利益	7,193	12,077	20,605	13,412	-
当期純利益	2,609	5,800	11,468	8,859	-
コア業務純益	22,584	23,183	25,870	3,286	25,000
自己資本比率	8.87%	9.41%	10.30%	1.43%	9.5%程度
Tier 比率	7.87%	8.41%	9.29%	1.42%	8.5%程度
不良債権比率	7.93%	6.69%	4.70%	3.23%	6%以下
不良債権残高	155,298	129,745	92,018	63,280	-
破産更生債権	49,974	40,306	29,719	20,255	-
危険債権	66,689	51,009	39,460	27,229	-
要管理債権	38,634	38,429	22,838	15,796	-
ROE(コア業務純益 / 株主資本)	20.98%	18.20%	20.37%	0.61%	21%以上
ROA(コア業務純益 / 支除総資産)	0.87%	0.85%	0.92%	0.05%	0.9%以上
OHR(経費 / コア業務粗利益)	59.61%	57.96%	55.46%	4.15%	57%以下
繰延税金資産	52,113	43,915	31,671	20,442	-
Tier に対する比率	47.47%	38.48%	25.45%	22.02%	-

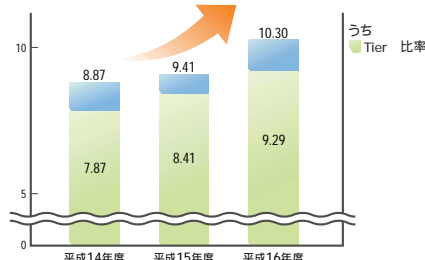
コア業務純益

(単位:百万円)



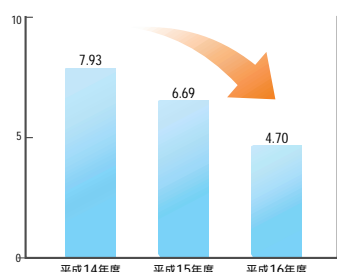
単体自己資本比率

(単位:%)



不良債権比率

(単位:%)



## 用語解説

### コア業務純益とは?

コア業務純益 =  
業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

### 基本的項目(Tier )とは?

資本金・剰余金などの、本来の自己資本のこと。

### 補完的項目(Tier )とは?

一般貸倒引当金・土地の含み益の一部など。

## 第12次中期経営計画について



低金利時代のお客様の資産運用ニーズに対応して、資産運用提案能力を高め、金融商品販売に力を入れるなど、大胆なビジネスモデルの転換を果たしてきた結果、平成16年度は過去最高益を計上することができました。

また、激しい社会構造の変化に対応すべく、平成17年4月、本部組織のフラット化を行い、経営の意思決定のスピード化を実現しました。新たな体制のもとで、第12次中期経営計画「New STAGE 2007～新たな価値創造への挑戦～」を推進し、『お客様に信頼と利便性・高い満足度を提供する活力あふれる銀行』を目指してまいります。

New STAGE 2007 ～新たな価値創造への挑戦～

### 「New STAGE 2007」のネーミング

新たな未来に向け地域とともに**発展**していくため、お客様のニーズに真摯に取り組む、高い**利便性**と**解決**機能を継続して提供していくことでお客様から**信頼**される、**活力あふれる**銀行づくりを目指していく。

**S** .....Solution( 解決 )  
**T** .....Trust( 信頼 )  
**A** .....Available( 利便性ある )  
**G** .....Grow( 発展する )  
**E** .....Energetic( 活力ある )

#### 収益力の強化

経営資源の選択と集中による新たなビジネスモデルの展開  
 マーケティング力の高度化  
 ～データベースマーケティングの活用・強化～  
 収益管理体制の強化

#### 企業再生と地域社会の活性化

地域への貢献  
 ～経営支援・企業再生支援を通じた地域経済の活性化～  
 中小企業向け金融の強化  
 個人のお客様に対する生活支援への取組強化

● 目指す銀行像 ●

**お客様に信頼と利便性、  
 高い満足度を提供する活力あふれる銀行**

#### 経営管理力の強化

内部管理体制の強化  
 コーポレート・ガバナンスの向上  
 統合リスク管理体制の構築

#### お客様、株主、地域社会からの厚い信頼の獲得と従業員満足度の向上

お客様の満足度の向上  
 ～お客様の安全性重視の経営姿勢～  
 地域のお客様の利便性向上に向けた情報開示の一層の充実  
 人材の育成と行員の活力を引き出す体制の整備

#### 経営環境

不良債権処理問題に目処がついたことによる一段の競争激化

平成17年4月からのペイオフ全面解禁

地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラムへの対応

会計制度の変更、新BIS規制への対応

偽造・盗難カード問題、個人情報保護法等への対応

IT化、少子高齢化の進展など社会構造の変化への対応



# ● 地域への貢献

## 新しい取組み

### 新規開店

平成 17 年 2 月に、旧市原支店を移転、建替え、名前も五井支店に改めました。

五井支店は、5 つのコンセプトにより便利でやさしいつくりをしました。

1. 敷地内にひろびろ、ゆったり、安心の駐車場
2. 通路・トイレはバリアフリー対応
3. プライバシーに配慮した個別相談コーナーで、気軽にゆっくり、ご相談
4. 貸金庫は数も種類も豊富になり、安心・安全のご提供
5. 便利でサービス充実の ATM には、目の不自由な方に配慮し、電話機と同一のキー配置を施した、ハンドセット付の ATM を設置



五井支店外観



店舗前面の駐車場



バリアフリー対応の通路



個別相談コーナー

### 今後の予定

当行では、千葉市内にあります蘇我支店と松ヶ丘支店のリニューアルを予定しています。平成 18 年 2 月頃の開店を目指して準備中です。



蘇我支店 完成予想図



松ヶ丘支店 完成予想図

## 貸金庫

お客様のセキュリティに対する関心の高さにお応えするため、平成16年度は貸金庫を1,300函新たに増設しました。

平成16年12月には、本店営業部で貸金庫の休日営業を開始し、また、成田西支店では、平成17年6月から指静脈認証システムを使った貸金庫を導入しました。

これらは県内の他金融機関に先駆けた取組みです。今後もお取引の安全性向上を図れるように取組みを続けていきます。



入室前

### 入室チェック

専用カードにより、入室チェックを行います。



入室後

### ご本人確認

指静脈認証または専用カードと暗証番号入力によりご本人確認を行います。

## 偽造カード対応

当行ではお客様に安全にカードをご利用いただくために次のような対策を講じています。

### 1. 1日当りのATM支払限度額の変更.....

平成16年4月から1日当りのATMにおける現金支払限度額を従来の300万円から200万円に引下げました。また、同時にお振込も1日当り500万円に引下げしています。

### 2. カードご利用限度額設定サービス.....

平成17年3月から窓口において、1日当りのATMご利用限度額をお客様のご希望額に応じて1万円単位で設定できるサービスを開始しました。(ATMでの本サービスは8月から順次開始する予定です。)

- ・現金出金 0円～200万円まで
- ・お振込 0円～500万円まで
- ・お振替 0円～500万円まで

### 3. ATMにおける暗証番号変更.....

平成12年11月からATMで暗証番号の変更ができるサービスを実施しています。

### 4. ATMコーナーへの後方確認用ミラー設置...

平成16年11月に全ATMブースに後方確認用のミラーを設置しました。

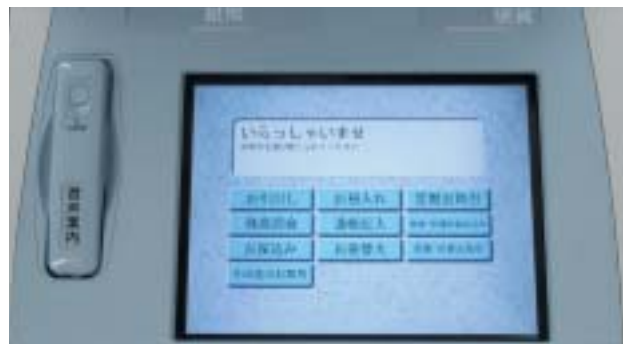
### 5. ATMコーナーへの覗き見防止パネル設置...

平成17年2月に五井支店に導入しました。今年度、設置店舗を拡大していく予定です。



### 6. ATM画面への覗き見防止フィルターの設置...

ATMの画面に後方より画面を覗かれた場合に画面が見えなくなるようにフィルターを設置する予定です。平成17年7月から順次設置していきます。



正面から見たところ



斜め後方から見たところ画面が全く見えなくなり、安心してご利用いただけます。

### 7. 被害に気がつかれた場合の届出受付開始時間の拡大.....

平成17年5月から早朝の届出受付開始時間を従来の7:45から7:30に拡大しました。

### 8. 異常取引を検知するシステム.....

多額の出金を繰り返し行うなどの異常取引については、翌営業日にお客様へ速やかにご連絡を行うよう準備を進めています。



# 地域の皆様とともに

## 地域の皆様への貸出状況

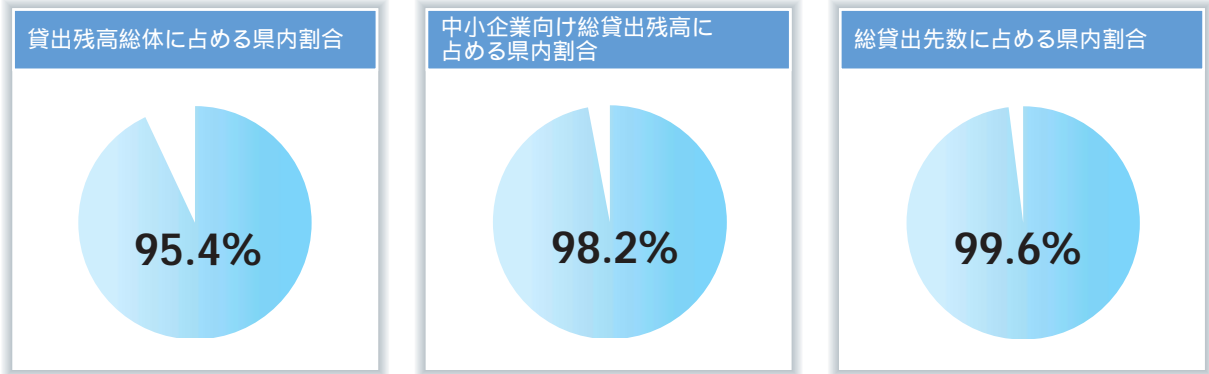


貸出金残高に占める県内融資の割合は95.4%であり、特に中小企業向け総貸出残高に占める県内割合は98.2%となっています。

また県内融資先数は137,485

件と、総貸出先数に占める県内貸出先数の割合は、99.6%となります。

今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指して努力していきます。



## 中小企業ニーズに対応する貸出商品

中小企業経営者の様々なニーズに対し豊かな地域社会作りに貢献する事を基本方針として、お客様の事

業発展のために積極的にお応えしています。

### 代表的な貸出商品.....

- 一般事業資金 BANK ビジネスローン、 BANK スモールビジネスローン、 BANK 新規事業支援ローン、TKC 戦略経営者ローン、事業者ローン、アパート事業者ローン、事業者カードローンなど
- 千葉県 短期運転資金、中小企業振興資金各種、開業育成資金、特別経営安定対策資金など
- 市町村 市町村制度融資

- 保証協会 平成15年10月から取扱開始の新制度ダッシュ5,000、平成16年7月から取扱開始の新制度スタート3,000、資金繰り円滑化借換保証など
- 諸団体 千葉県医師会幹旋融資、千葉県歯科医師会幹旋融資 商工会議所・法人会会員向け BANK ビジネスローンなど

上記の様に幅広いニーズに対応していますが、独自の中小企業向け融資商品として、平成16年9月から「 BANK ビジネスサポートローン 」、平成17

年3月から「 商工会議所・商工会・法人会会員向け BANK ビジネスローン 」の取扱いを開始しました。



BANK ビジネスローン



BANK 新規事業支援ローン



TKC 戦略経営者ローン



BANK ビジネスサポートローン

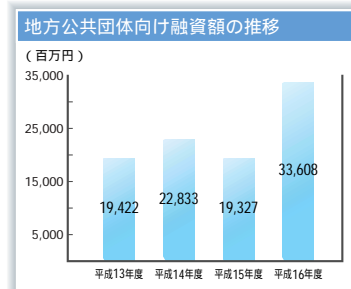
## 環境・社会福祉・教育関連事業への融資取組み

環境関連事業向け融資については「環境保全施設整備資金」等により支援を実施しており、融資先数 72 先、融資残高 539 百万円となっています。

また、社会福祉関連については 16 先 840 百万円、教育関連については 108 先 5,566 百万円の融資を実施しています。（平成 17 年 3 月 31 日現在）

## 地方公共団体向け融資額の推移

地方公共団体向けの融資対応状況は、平成 17 年 3 月末現在で、千葉県内 35 市町村に対し、融資残高 336 億円となっています。



## 地方自治体の制度融資の取扱件数・額

当行は、千葉県及び千葉県内各市町村の制度融資取扱窓口として、中小企業の資金ニーズに積極的にお応えしています。平成 16 年度は 8,609 件

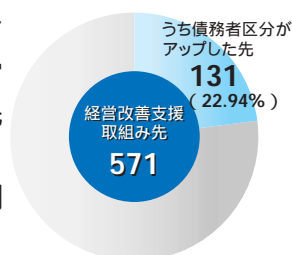
49,607 百万円のご利用をいただいています。  
主な制度の概要、取扱実績は以下の通りです。

制度名称	制度概要	件数	年度末残高	件数	年度中貸出累計
事業振興資金	店舗・工場等の新築・増改築資金。原材料、商品等の購入資金。	2,024	15,660百万円	523	5,707百万円
小規模事業資金	小規模事業者(従業員20人以下)向け事業経営資金。	1,777	5,519百万円	463	2,466百万円
中小企業活性化支援資金	中小企業創造活動促進法等に基づき認定を受けた計画事業を行うための資金。	11	237百万円	5	88百万円
経済変動対策資金	国指定の不況業種を営む等、経営の安定に支障を生じている中小企業者向けの資金。	466	3,707百万円	52	564百万円
開業・育成資金	新たに事業を開始しようとする方、または開業後1年未満の方向けの事業資金。	249	1,124百万円	62	379百万円
短期運転資金	一時的な資金を必要とする中小企業者向けの資金。	1,913	11,792百万円	4,000	29,407百万円

## 地域企業の再生支援への取組み

地域経済振興の視点から、お取引先企業に対し、企業再生支援の取組みを実施しています。平成 14 年 6 月、中小企業診断士や支店長経験者などの専門スタッフからなる「企業経営相談室」を設置し、お取引先企業の財務体質の強化や「経営改善計画書」の作成等のアドバイス、同計画実施についてのフォローアップ等の活動を行ってきた結果、第 11 次中期経営計画の 2 年間で、お取引企業 571 先のうち 131 先について債務者区分のランクアップが実現しました。経営改善に向けた活動を通じ蓄積した経営支援に関するノウハウを活かし、株式公開や M&A、法人取引

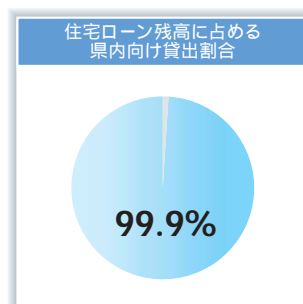
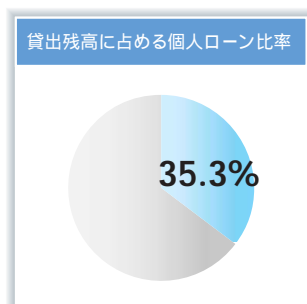
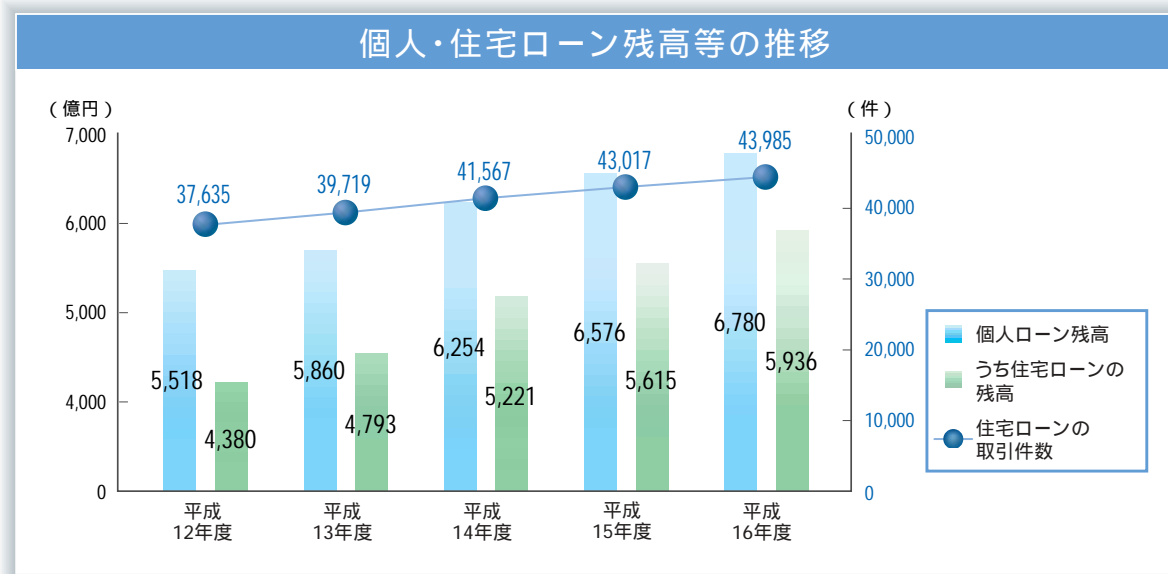
に関する専門性・戦略性の高い業務を提供する部署として、平成 17 年 4 月、融資第一部から独立しました。今後は企業再生を含めたお取引先の経営支援活動を行ってまいります。



## 個人ローン残高等の推移

お客様のマイホームの実現のお手伝いとして、住宅ローン融資を積極的に推進しています。平成17年3月末の住宅ローン貸出数は、43,985件(前年比2.2%増)、同残高は5,936億円(前年比5.7%

増)となっており、そのうち県内向けが43,974件、5,935億円と県内のお客様に数多くご利用いただいています。



## 「返済相談グループ」の設置

経済環境の変化に伴う家計所得の伸び悩みを受け、返済に関してお困りのお客様のため、平成16年2月、個人融資部のオートコールセンター内に「返済相談グループ」を設置し、お客様の生活支援への取り組みを開始しました。お客様相談会を開催し、豊富な知

識と経験を持った行員が5名体制で、ご相談に応じています。取組み開始以来、平成17年3月末迄に395名のお客様が返済計画の策定や見直しの相談に参加され、内369名のお客様に対して返済方法の変更を行う際のお手伝いをしました。

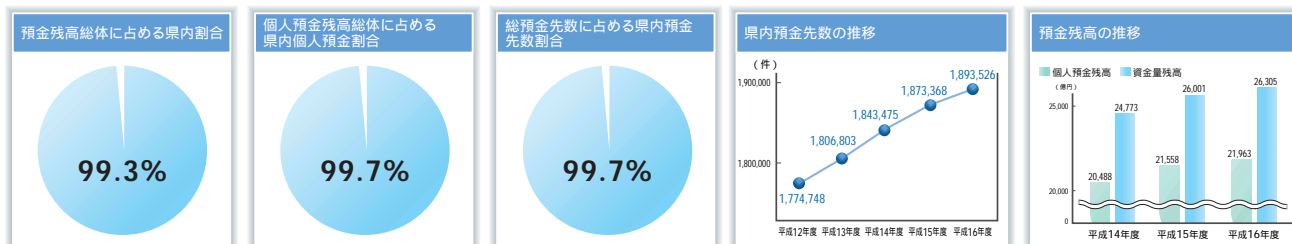
## 預金残高の状況

預金残高に占める県内預金の割合は99.3%であり、特に個人預金残高に占める県内個人預金の割合は99.7%となっています。

また、県内預金先数は約189万先と1年間で約2万先増加しており、総預金先数に占める県内預金先

数の割合は、99.7%となっています。

今後も地域のベストバンクを目指し、健全性の維持に努めると同時に、魅力ある商品の提供を心がけていきます。

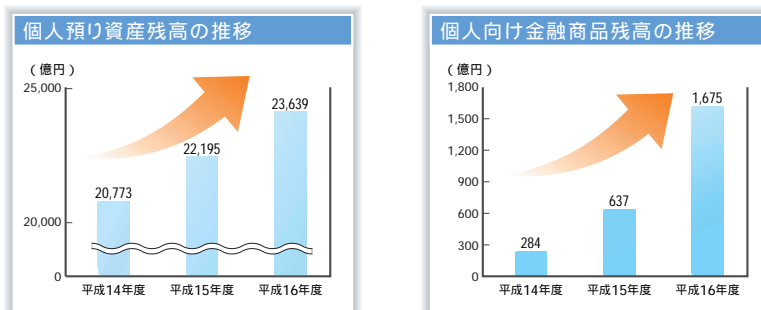


## 個人預り資産の状況

お客様の様々な資産運用ニーズにお応えする金融商品ラインナップがご好評を頂き、17年3月末の個人預り資産残高は2兆3,639億円となり、前年比1,443億円の増加となりました。中でも個人向け国債を中心とした国債や投資信託・個人年金保険を合計した個

人向け金融商品残高は前年比で162.9%の増加実績となり、お客様に大変ご好評を頂いています。

これからも、お客様のニーズに合った新商品、質の高いサービスを提供することにより、厚い信頼を頂ける様努めていきます。



## 株主優待定期預金

日頃のご愛顧に感謝し、株主優待定期預金をお取扱い致します。

対象者	毎年3月31日および9月30日現在で、当行株式1,000株以上所有の株主様ご本人
預金種類	スーパー定期(期間1ヵ月以上1年以内)
適用金利	店頭表示金利+0.5%
預入限度額	10万円以上100万円まで
取扱店舗	当行本支店および出張所(成田空港出張所、成田空港サテライト出張所を除きます)
預入回数	1回限り(分割預入はできません)
取扱期間	毎年7月・8月および12月・1月の一定期間
その他	年2回実施により年間最高200万円まで預入可能です

## BANK ビジネスクラブ

昭和 63 年にお客様へのサービス向上を目的に、地域で事業を営むお取引企業を会員とした「 BANK ビジネスクラブ」を設立し、取引先の紹介や各種経営情報サービスを行っています。また各種セミナー、講演会を通じ会員企業の人材育成や交流・地域経済

活動のお手伝いをしています。

平成 17 年 3 月末現在の会員数は、約 1,400 社にのぼります。

平成 16 年度は以下のような活動を実施し、参加者の皆様からは高い評価をいただきました。

### 【平成 16 年度の主な活動】

#### セミナー.....

一流企業でのセミナー実績のある講師をお招きして、様々なセミナーを実施し、合計で約 210 名の皆様にご参加いただきました。実施したセミナーは 新入社員・若手社員セミナー、営業リーダーセミナー、次世代トップリーダー養成講座、クレーム対応セミナー等です。

#### 年次大会記念講演会 & 交流会.....

毎年、著名人の講師をお招きして実施しています。平成 17 年 3 月 15 日に実施した BANK ビジネスクラブ年次大会には約 720 名の皆様にご参加いただきました。



養老孟司氏による講演会

#### その他の主なサービス.....

##### ・ビジネスレポート

業務に役立つ様々な情報を、会員の皆様にご提供しています。平成 16 年度の年間利用件数は、約 1,700 件でした。

##### ・コストダウンサービス

業務に必要な事務用品等の購入について、会員の皆様に有利なサービスをご利用いただいています。平成 16 年度の年間利用件数は、約 130 件でした。

#### サービス項目.....

##### ・ブックセレクトサービス

日経 BP 社が発行する経営情報誌 10 誌の中から会員様の希望誌をお届けします。

サービス項目	主 な 内 容
ブックセレクトサービス	日経BP社が発行する経営情報誌10誌の中から会員様の希望誌をお届けします。
BANKビジネスクラブ・マンスリー	最新のビジネス情報のほか、クラブ事務局からのお知らせや、講演会・セミナー等をご案内します。
トップの情報CD	日経ベンチャー経営セミナーやタイムリーな経済、税務、法務などの話題など経営者に必要な情報を収録したCDを毎月、お届けします。
ビジネスレポート	経営課題全般から健康管理といったオフビジネス面まで、約3,300種類のレポートを24時間お届けいたします。全タイトルを収録した「ビジネス・レポート・インデックス手帳」に見当たらない項目や、もっと掘り下げて知りたい項目は専門スタッフが個別にお応えします。
各種セミナー	経営者だけでなく管理者や若手社員の方のお仕事に役立つ実践的セミナーが低料金で、また、日経ベンチャー経営者クラブ主催の講演会へは会員の皆様は何回でも無料でご参加いただけます。
商談情報発信サービス	「日経ベンチャー」誌、日経BP社の「バーチャル商談会」サイトへ会員の情報を無料で掲載することも可能です。また、日経BP社主催のビジネスフォーラム、ビジネス交流会・展示会等に低料金でご参加いただけます。
コストダウンサービス	(株)ベネフィットワンの提携により文具・事務用品等の約18,000アイテムを割引価格にてご提供します。



## 「ベンチャークラブちば」への参画について

ベンチャー企業の育成に欠かせない資金調達や販路開拓等の支援を行う、民間主体によるベンチャー企業支援組織である、「ベンチャークラブちば」に事業実施委員会のメンバーとして加盟しています。

同クラブは、当行の他、ベンチャー企業の創出や  
・ <平成16年度の主な活動>

### ビジネスプラン発表会

「ベンチャークラブちば」では、ベンチャー企業の資金調達や販路開拓のビジネスパートナーとのマッチングの場として、事業計画のプレゼンテーションを行うビジネスプラン発表会を開催しており、当行は積極的に参加しています。

事業促進、株式公開等に向けた支援を推進している銀行・投資会社・監査法人等のネットワーク化により、公的支援とも連携しながら地域経済の活性化に取り組んでいます。

	発表企業	参加者
平成16年12月10日:第8回ビジネスプラン発表会	5社	104名
平成17年 3月16日:第9回ビジネスプラン発表会	6社	123名

## 県内の会計士・税理士組織との交流

県内の中小企業事業主の皆様のお役に立てるよう、当行では千葉県内で会計事務所を営む会計士・税理士が多数所属する専門組織との情報交換会を実施しています。専門の先生方の豊富な知識と、地

域金融機関ならではの県内115カ店の有人店舗のネットワークを活かして、経営情報の提供・企業再生に向けた支援等を実施する体制を整備しています。

## PFI事業について

PFIは、民間の資金、経営能力及び技術的能力、創意工夫等を活用して公共施設の建設・運営・維持管理等を行う新しい手法であり、千葉県内でも数例

あります。当行も2つのプロジェクトに参加しており、今後も積極的に加わって行く方針です。

## 市役所及び町役場への行員派出状況

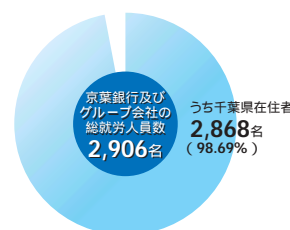
当行は、2市・5町と指定金融機関事務取扱契約を、また千葉市指定金融機関と指定代理契約を締結しており、市役所及び、町役場に派出所を設置し、行員を派遣しています。

契約先市町	派出場所	派出所開設日	派出窓口営業時間	派出人員
四街道市	四街道市役所	昭和62年 7月26日	8:30～17:00	2人
浦安市	浦安市役所	平成 9年 6月 1日	8:30～17:00	2人
野栄町	野栄町役場	昭和40年 5月 8日	9:00～16:00	1人
松尾町	松尾町役場	昭和49年 8月 1日	9:00～16:30	1人
山武町	山武町役場	昭和50年 4月 1日	9:00～16:30	1人
光町	光町役場	昭和53年 6月 1日	8:30～16:30	1人
山田町	山田町役場	昭和58年10月 1日	9:00～16:00	1人
千葉市(指定代理契約)	中央区役所5階	平成 4年 4月 1日	9:00～16:00	2人

一般店舗とは違い、各種税金等の納付受付が主な業務です。

## 千葉県の皆様を中心とした雇用への取り組み

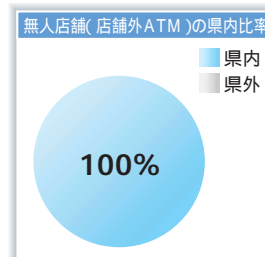
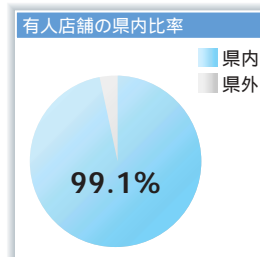
地域金融機関として地域の雇用創出に寄与したいと考えています。平成17年3月末現在、当行役職員として1,887名嘱託・パートとして363名、他社からの派遣・出向126名、当行グループ会社492名、合計2,868名の千葉県の皆様の雇用を実現しています。



## 地域の利便性・サービスの充実

### 地域のお客様の利便性向上への取組み

有人店舗 115 カ店(内千葉県内において 114 カ店) 無人店舗 147 カ所(内千葉県内において 147 カ所) 設置し、お客様へのきめ細やかなサービスの提供を心がけています。  
(平成 17 年 3 月 31 日現在)

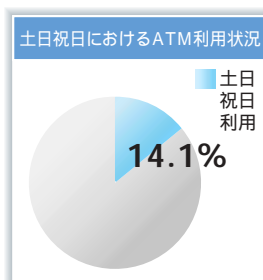


### 休日・夜間(18時以降)に入金もできる便利な ATM

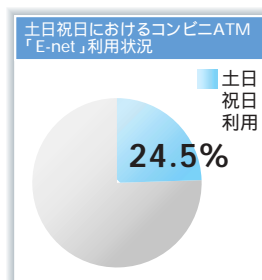
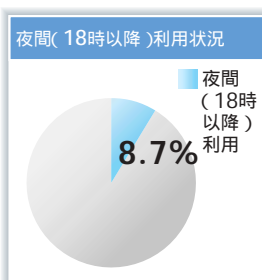
日中お忙しいお客様のために当行では正月三が日を除き、毎日朝 8 時から夜 9 時まで「お引出し」「お預入れ」「お振込」等がご利用いただけます。

当行では、コンビニ ATM( E-net、アイワイバンク銀

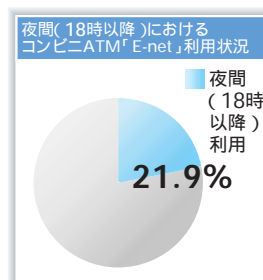
行(平成 17 年 5 月 24 日提携開始)との提携により、コンビニ等に設置された ATM で、正月三が日を除き、毎日朝 8 時から夜 9 時まで「お引出し」「お預入れ」等がご利用いただけます。



平成 17 年 3 月における入金・振替、出金、振込取引を対象としています。



平成 17 年 3 月における入金、出金、振込取引を対象としています。



### マルチペイメントネットワーク対応による「Pay-easy(ペイジー)」がますます便利に

平成 16 年 1 月より開始しました、マルチペイメントネットワークに対応した税金・公共料金・各種料金の払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」の収納機関を 13 収納機関追加し、20 収納機関としました。(平成 17 年 5 月末現在)

また、平成 16 年 11 月に開始した法人・個人事業者向けインターネットバンキング「アルファビジネスダイレ

クト」においても「Pay-easy(ペイジー)」サービスが可能となり、ATM、個人版インターネットバンキングと併せてご利用できるようになりました。「Pay-easy(ペイジー)」により、お客様は窓口営業時間外でも、ATM や自宅のパソコンから納付可能ですので、納付時間も大幅に短縮されます。

### 個人向け国債の ATM による取扱実績について

(単位:件、百万円)

	総体件数	総体金額	うちATM件数・割合		うちATM金額・割合	
第6回債 (16年4月12日発行)	3,379	12,713	755	22.3%	1,874	14.7%
第7回債 (16年7月12日発行)	4,400	17,348	1,248	28.4%	2,556	14.7%
第8回債 (16年10月12日発行)	4,439	16,547	1,166	26.3%	2,445	14.8%
第9回債 (17年1月11日発行)	3,980	14,333	1,211	30.4%	2,248	15.7%
第10回債 (17年4月11日発行)	3,753	16,083	1,092	29.1%	2,326	14.5%

## ATM サービス

京葉銀行のATMでは、すべてのATMで、下記のサービスをご利用になれます。(ただし、1月1日～1月3日は休業日とさせていただきます。また5月3日～5日は一部のサービスを休業いたします。)

項目	内容
普通預金、貯蓄預金のお預入れ及びお引出し	休日など窓口の営業時間外でも、ご利用になれます。
入金時のお釣り払い	ご希望の、入金金額またはお釣り金額を指定できます。
通帳のみによるお引出し	キャッシュカードが発行されている口座でお客様から依頼書をご提出いただくと通帳のみでのお引出しにご利用になれます。
定期預金のお預入れ及びご解約	自由引出型定期預金、スーパー定期及び期日指定定期預金が対象です。
お振込、お振込のご予約	休日など窓口の営業時間外でも、お振込のご予約がご利用になれます。 <input type="checkbox"/> 現金もOK <input type="checkbox"/> お釣りもOK
外貨預金のお取扱い	外貨預金専用通帳をお作りいただくと、外貨定期預金、外貨普通預金のお預入れ、お引出しにご利用になれます。
通帳間の資金のお振替	同一のお取引店の通帳に限り、普通預金から貯蓄預金へ等資金のお振替がご利用になれます。
通帳の記入	休日など窓口の営業時間外でも、ご利用になれます。
通帳の繰越発行	休日など窓口の営業時間外でも、ご利用になれます。
暗証番号の変更	ご本人様キャッシュカードの暗証番号を無料で変更できます。
残高照会	残高照会の後引き続いて、カードを一度返却することなく、お預入れ、お引出し、お振込がご利用になれます。
クレジットカード等によるキャッシング	29社の各カード会社と提携しております。また、VISAカード(京葉銀VISAカードを含む)、JCBカード、UFJカード、UCカード、DCカード、ダイナースカード、ティエスキュービックカード、アットローンカード、モビットカード、キャッシュワンカードの利用によるローン等のご返済もご利用になれます。
資料の請求	預金、ローン、各種サービス等に関する資料のご請求ができます。
メッセージによるご案内	ATMによるお取引で処理をお待ちになる間、画面へ各種メッセージをご案内します。
郵便局のキャッシュカードの利用	郵便局のキャッシュカードで、お預入れ、お引出し、残高照会がご利用になれます。また、京葉銀行のキャッシュカードも郵便局のATMで、お預入れ、お引出し、残高照会がご利用いただけます。
郵便振替口座へのお振込	京葉銀行のキャッシュカードを利用して、郵便振替口座へお振込いただけます。
個人向け国債のお取扱い	債券・定期口座通帳をお作りいただくと、個人向け国債の購入、購入予約、中途換金がご利用になれます。
税金、各種料金のお支払い	当行と提携している収納機関で、Pay-easy(ペイジー)マークのある納付書により、税金、各種料金がお支払いいただけます。 <input type="checkbox"/> 現金もOK <input type="checkbox"/> お釣りもOK

(平成17年5月31日現在)

さらにお得な、金利上乘せサービスを実施しています。

項目	内容
金利上乘せサービス	ATMで定期預金を作成されたお客様へ、店頭表示金利に0.02%金利を上乘せするサービスを実施しています。但し、対象となる定期預金の種類は、スーパー定期(期間1年以上)に限りです。

(平成17年5月31日現在)

コンビニのATMがご利用になれます。(ただし、1月1日～1月3日はご利用になれません。)

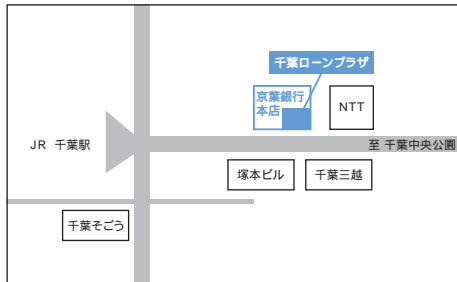
項目	内容
コンビニATM(イーネット)	「E-net」マークのある全国のコンビニ等で、お預入れ、お引出し、お振込、残高照会がご利用になれます。(県内436カ所、全国5,293カ所/平成17年5月31日現在)
コンビニATM (アイワイバンク銀行)	全国のセブン-イレブンやイトーヨーカドー等に設置のアイワイバンク銀行のATMで、お預入れ、お引出し、残高照会がご利用になれます。 お客様からのご要望におこたえし、平成17年5月24日から提携開始いたしました。 (県内738カ所、全国10,173カ所/平成17年5月31日現在)

(平成17年5月31日現在)

## 4つのローンプラザの営業でますます便利に

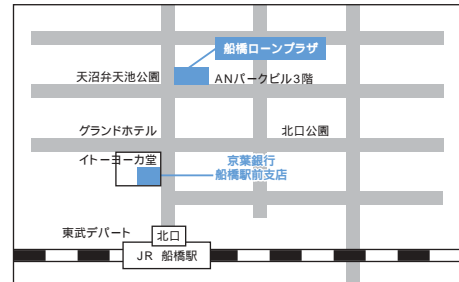
窓口の営業時間外および休日にも住宅ローン等の相談・受付ができる店舗として4つのローンプラザを営業しています。お近くのローンプラザにぜひご来店ください。

### 千葉ローンプラザ



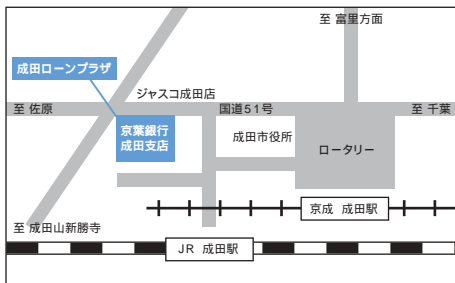
営業日	平日	土・日・祝日	千葉市中央区富士見1-11-11
営業時間	9:00～17:00	9:00～17:00	京葉銀行本店となり
休業日	1/1～1/3, 5/3～5/5, 12/29～12/31 TEL 043-222-1361, FAX 043-224-7230		

### 船橋ローンプラザ



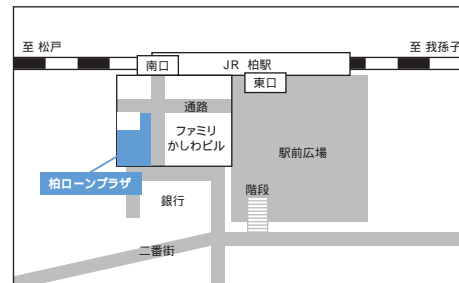
営業日	平日	土・日・祝日	船橋市本町6-7-1
営業時間	9:00～19:00	10:00～17:00	JR船橋駅北口ANパークビル3階
休業日	12/31～1/3, 毎週水曜日 TEL 047-425-1187, FAX 047-425-1185		

### 成田ローンプラザ



営業日	平日	土・日・祝日	成田市花崎町774-2
営業時間	9:00～17:00	9:00～17:00	京葉銀行成田支店2階
休業日	12/31～1/3, 毎週水曜日 TEL 0476-24-7822, FAX 0476-24-7823		

### 柏ローンプラザ



営業日	平日	土・日・祝日	柏市柏1-1-11
営業時間	10:00～19:30	10:00～19:30	JR柏駅南口ファミリかしわビル2階
休業日	1/1-1/3, 'ファミリかしわ'ビル休業日(原則水曜日) TEL 04-7163-7272, FAX 04-7163-5903		

### 【ローンプラザでの受付状況 - 平成16年度】

#### 来店相談件数

平日	7,465件
土・日・祝日	2,999件
合計	10,464件

#### 地元お取引先からの住宅ローン案件持込件数・金額

- ・件数：3,431件
- ・金額：82,818百万円



## 年金相談会の開催について

平日に県内各営業店にて専門の社会保険労務士による個別年金相談会を開催し、複雑な年金制度の説明や年金手続のお手伝いをしています。平成16年度は738回開催しました。


また仕事等の理由で平日にご参加できない方のために、休日にデパート等の会場で個別年金相談会を開催しています。平成16年度には51回開催しました。なお平成16年度から千葉・船橋各ローンプラザにおいても休日年金相談会を開始しました。さらに退

職前後の手続等についてわかりやすく説明した年金セミナーを県内各地で開催し、当行とお取引のない方にも気軽にご参加いただける場を提供しています。平成16年度は12回開催し、401名の参加をいただきました。



年金相談会へご参加等のお問合せはお近くの営業店もしくは、

京葉銀行ダイレクトサービスセンター

 **0120-46-0852**

受付時間 9:00～17:00 ただし土・日・祝日は除く

までお気軽にご連絡下さい。

### 年金相談会、セミナーの内容

- ・受給資格の有無
- ・各制度(厚生年金・国民年金・共済年金)の基本的説明
- ・繰上げ制度(一部繰上げ・全部繰上げ)
- ・年金見込額の算出(概算)
- ・在職老齢年金について
- ・退職後の医療保険
- ・遺族年金について
- ・雇用保険の受給について(基本手当、高年齢雇用継続給付金)
- ・年金改正関係
- ・年金手続関係(裁定請求書作成のお手伝い、添付書類の説明)
- ・受給後の手続き等

## お客様のニーズに応じた相談会の開催について

当行では、お客様の税務相談ニーズにお応えするため、無料税務相談会を毎月開催しています。

お客様は右記4店舗のどの店舗でもご利用でき、プライバシーに配慮した当行顧問税理士との個別相談ですから安心してご利用いただけます。

また、本部ファイナンシャルプランナーによる、金融商品の資産運用について個別相談会も開催しています。投資信託商品18本、個人年金保険商品7本、外貨預金5通貨、また個人向け国債等債券を取り扱っており、お客様一人ひとりのお話をお伺いし、当行ラインナップの中から、お客様のニーズに合った金融

商品のご提案を行っています。

ご利用の際は、税務相談会については下記店舗へ、資産運用についての個別相談会はお取引店舗にお申し込み下さい。

- ・本店営業部：毎月18日
- ・船橋駅前支店：毎月8日
- ・本八幡支店：毎月16日
- ・柏ローンプラザ：毎月第2金曜日

ご相談時間＝午前10時～午後3時  
当日が銀行休業日の場合は、翌営業日となります。

## CSアンケートの実施について

お客様の生のご意見をお伺いするために、CSアンケートを実施しています。平成16年度は、約112,000通をお客様宛に送付し、約10,000通のご

回答を頂いています。多くの貴重なご意見がサービス向上に繋がるよう今後も継続して行っていきます。



## 献血の実施

千葉県赤十字血液センターへ年2回本店、本部の行員を主に献血を実施しています。

平成16年度は148名、49,600ccを採血し協力しました。

## 小さな親切運動

京葉銀行の役職員、約2,000名の募金を、毎年寄付活動等により、地域社会に役立てています。

平成16年度は、肢体不自由児100名をディズニ

ーリゾートへ、福祉施設入所者350名を6回のコンサートへ招待しました。また、歳末たすけあい寄付等を行い、8団体に275万円を寄付しました。

## 京葉銀行ホームヘルパー助成基金

平成5年2月に、高齢社会における在宅福祉サービスの担い手であるホームヘルパーを支援するため、公益信託「京葉銀行ホームヘルパー助成基金」を設立し、毎年千葉県内のホームヘルパー事業に携わる団体へ助成金を贈呈しています。

これまで12年間、144団体、1,900万円を助成しホームヘルパー団体の研修事業や、施設、機器等の整備に役立てられています。



ホームヘルパー研修会

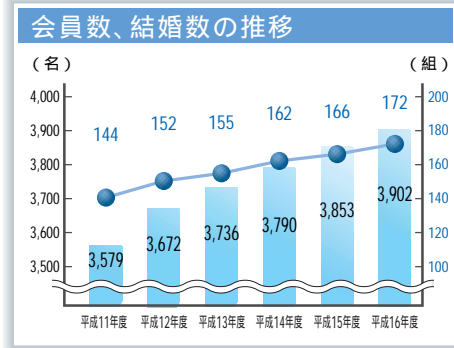
## 千葉駅前オフィス町内会

平成4年2月に、JR千葉駅前にオフィスを置く事業所が企業の社会的責任を自覚し、環境問題である千葉駅前地区の環境美化活動と、会員企業62社より出される古紙のリサイクル活動を行っており、当行はその代表幹事、事務局を務めています。

環境美化活動として、毎月、第一水曜日に約200名の参加のもと千葉駅前地区の清掃活動と、年間377トンの古紙回収を行い、地域社会に貢献をしています。

## RLC会(結婚無料相談所)

昭和60年10月に後継者問題等の改善を目的として、RLC会(Rose Life Creation=バラ色の人生設計の略)を発足し、会員の結婚に関する情報の無料提供と、毎年秋に約100名参加による会員相互の親睦パーティーを開催し、ご結婚のお手伝いをさせて頂いています。RLC会にはベテランのカウンセラーを配置し、会員のご相談に応じ、皆様から大きな信頼を得て、これまでに累計で172組のカップルが誕生しています。



## 各種スポーツ大会の支援

地域のスポーツ振興の一環として、子供から高齢者まで人気があり、楽しめるスポーツの支援をしています。

### ママさんバレーボール大会の支援

家庭婦人のスポーツとして盛んなバレーボールの大会を毎年秋に千葉県家庭婦人バレーボール連盟と共催で行い、賞品、参加賞、ボール等を寄贈しています。

共催の大会(平成16年度)

「第13回 杯千葉県家庭婦人バレーボールシニア大会」  
50歳以上の47チーム(約700名)参加

「第9回京葉銀行杯千葉県家庭婦人バレーボール大会」  
50歳未満の32チーム(約500名)参加



### 少年軟式野球大会の支援

子供たちの大好きな野球の大会へ賞品を寄贈しています。

平成16年度

「第28回千葉市少年軟式野球協会秋季中央大会」  
147チーム約3,000名の小学生が参加

### グラウンドゴルフ大会の後援

最近、高齢者スポーツとして、特に人気のあるグラウンドゴルフの大会へ賞品等を寄贈し後援しています。

平成16年度

「第8回千葉県グラウンドゴルフ大会」春  
約1,300名参加

「第16回千葉県グラウンドゴルフ大会」秋  
約1,300名参加



## 若い芽の コンサート協賛

平成元年から、将来性のある若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的として、(財)千葉県文化振興財団が主催する「若い芽のコンサート」(毎年6月、千葉県文化会館大ホール)に協賛しています。

これまでに、18回、51人が公演し、その後プロとして、世界の舞台で活躍している演奏家も輩出しています。



## カレンダーへの県内若手画家起用

昭和49年のカレンダーより、千葉県にゆかりのある画家の作品をご紹介します。平成17年のカレンダーまで、32年間にわたり、東山魁夷画伯をはじめ県内にゆかりの深い有名画家のカレンダーを紹介し

てきましたが、平成14年からは、将来を囑望される若手画家の紹介に切り替え、今年、佐倉市在住の日本画家、岩波昭彦画伯の作品をご紹介します。

## 年金受給者向け情報誌「ゆとり」発行

当行で年金をお受け取りいただいているお客様向けに、「健康で心豊かな暮らし」を提案する情報誌として、年2回(4月・10月)発行しています。旅、料理、健康、ハイキング、サークル活動等様々なジャンルをご紹介します。



## 地域向け情報冊子「ちば魚～きんぐ」発行

お客様向けの小冊子として「ちば魚～きんぐ」を発行しています。「ちば魚～きんぐ」は千葉県で水揚げされる“魚介類”を特徴、特性、名前の由来、その魚介類にまつわる民話、伝説など様々な角度からご紹介するもので、平成15年10月から平成18年9月までの3年間にわたり、毎月1回計36回発行します。毎月下旬に店頭へ備え置き、ご来店されたお客様に自由にお持ち帰りいただいています。また、県内の公立図書館等にも配布し、地域の皆様にいつでもご覧いただけるようにしています。



## 本店ショーウィンドーギャラリー開催

千葉市中央区にあります当行本店では、芸術や文化を発信する場としてショーウィンドーギャラリーの展示を行っています。

平成17年度から、新たに「日本の伝統」というテーマで、私たちの暮らしの中にみられる伝統的な良きものを様々な角度から改めて見つめ直して、毎回ご紹介します。

今年度は、4～6月「かたち」、7～9月「色彩」、10～12月「文字」、1～3月「文様」を展示テーマに展示を行います。

「ちば魚～きんぐ」<sup>うお</sup>、「ゆとり」および「本店ショーウィンドーギャラリー」の内容は、当行ホームページでもご覧いただくことができます。

京葉銀行ホームページ

<http://www.keiyobank.co.jp>



上総鯉のぼり(千葉県指定伝統的工芸品)

## お客様相談窓口の設置

当行では、お客様からの銀行業務に関するご意見、ご要望をお寄せいただく部署として、「お客様相談室」を設置しています。

「お客様相談室」 ☎ 043-222-2121 (本店代表)  
受付：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(ただし、銀行休業日は除きます)



# ● 信頼をより一層深めるために

## 不良債権への取組み

毎年、資産の自己査定を厳格に継続してきました結果、当行の不良債権処理は確実に進み、平成16年度の不良債権処理費用は57億円と前年度に比べて54億円もの大幅な減少となりました。

今後も引き続き地域金融機関として地域経済との関係を一層強化し、地元中小企業の事業再生と地域経済の活性化を軸に不良債権処理への取組みを進めていきます。

## リスク管理債権

銀行法に基づき、貸出金のうち「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」にあたるものをリスク管理債権として開示しています。リスク管理債権は、貸出金ごとに延滞状況や貸出条件の変更等に基づき、一定の基準に従って分類しています。

(単位:百万円)

	平成15年度		平成16年度	
	銀行単体	連結	銀行単体	連結
破綻先債権額	14,368	14,418	11,415	11,426
延滞債権額	75,230	76,127	57,364	57,518
3ヵ月以上延滞債権額	198	252	291	356
貸出条件緩和債権額	38,230	38,475	22,547	22,547
合計 (A)	128,029	129,274	91,618	91,849
上記債権額に係る個別貸倒引当金残高	20,349	21,701	17,751	17,851
担保等保全額	73,345	72,973	51,090	51,149
一般貸倒引当金残高	4,013	4,023	3,687	3,700
合計 (B)	97,708	98,698	72,529	72,702
保全率 (B)/(A)	76.31%	76.35%	79.16%	79.15%

## 金融再生法基準の開示債権(単体)

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(以下、金融再生法)に基づき、資産の自己査定の結果について「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」に区分して公表しています。「正常債権」を除く債権に対する保全状況については、保全率79.24%と、今後の損失発生に備え十分な水準にあります。

金融再生法基準の開示債権がリスク管理債権よりも約4億円多いのは、リスク管理債権の開示対象が貸出金のみなものに対し、金融再生法基準では貸出金以外に貸付有価証券、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金などの債権が開示対象に含まれているためです。

(単位:百万円)

債務者区分	債権額A	左記に対する保全・引当金					保全不足金(C)に対する引当金(%) F/C	カバー率 (B+F)/A
		担保等B (注1)	保全不足C (A-B)	個別貸倒引当金D	一般貸倒引当金E	引当金F (D+E)		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29,719	23,795	5,923	5,923	-	5,923	100.00%	100.00%
危険債権	39,460	19,951	19,509	11,860	-	11,860	60.79%	80.61%
要管理債権	22,838	7,702	15,135	-	3,687	3,687	24.36%	49.87%
(うち3ヵ月以上延滞)	291	174	116	-	36	36	31.46%	72.55%
(うち条件緩和債権)	22,547	7,528	15,019	-	3,650	3,650	24.30%	49.57%
合計	92,018	51,449	40,568	17,784	3,687	21,471	52.92%	79.24%
正常債権 (注2)	1,862,727	(注1)担保等のうち土地については、主に平成16年度の路線価を基準にした金額です。						
総与信残高 (注3)	1,954,745	(注2)正常債権...正常先に対する債権および要注意先に対する債権のうち要管理債権に該当する債権以外の債権。						
		(注3)総与信残高...貸出金の他、支払承諾見返・外国為替等を含んだものです。						

## 自己査定・金融再生法開示基準・リスク管理債権の情報開示基準の関係

(単位:百万円)

自己査定における債務者区分(対象・総与信)	
破綻先	11,471
実質破綻先	18,247
破綻懸念先	39,460
要注意先	226,119
(うち要管理先)	31,500
(うち要管理先以外の要注意先)	194,619
小計	295,299
正常先	1,659,446
合計	1,954,745

金融再生法基準(対象・与信関連資産)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29,719
危険債権	39,460
要管理債権(貸出金のみ)	22,838
(うち3ヵ月以上延滞)	291
(うち貸出条件緩和債権)	22,547
小計(開示債権)	92,018
正常債権(自己査定の要管理先以外の要注意先を含む)	1,862,727
合計	1,954,745

リスク管理債権(対象貸出金)	
破綻先債権	11,415
延滞債権	57,364
3ヵ月以上延滞債権	291
貸出条件緩和債権	22,547
合計(開示債権)	91,618



## リスク管理体制

金融の自由化・金融技術の発展・IT(情報通信技術)の飛躍的な向上等により、銀行が直面するリスクはますます多様化、複雑化しており、リスクの所在や大きさを正確に把握・分析し、適切な管理を行うこと

が一層重要となってきています。当行では、経営の健全性の維持と収益力の向上が両立し得る経営を目指し、リスク管理を重要な経営課題と認識し取り組んでいます。

### リスク管理に関する方針・体制

当行では「リスク管理基本規定」をはじめとするリスク管理規定体系を整備し、リスク管理の方針や管理の方法について明確にしています。具体的には、融資・市場・事務・システム等各部門毎にリスク管理部署を定め、その特性に応じたリスク管理を行うとともに、総合企画部リスク管理グループが、リスク管理統括部署として一元的に管理状況のチェックを行い、リスクの把握およびコントロールを行っています。

リスクを管理・協議するための組織として、「リスク管

理委員会」と「ALM委員会」を設置しています。「リスク管理委員会」は、銀行内において各種リスクに対する認識の統一を図り、リスク管理を重視する企業風土の醸成や、リスク管理態勢全般について協議することを目的としています。一方「ALM委員会」は、資産・負債の総合管理について検討し、リスクを極小化して収益を極大化すべく経営意思決定のために報告・提言を行うことを目的としています。

### 内部監査

内部監査は、銀行業務に内在する事務リスク、信用リスク、システムリスク等の各種リスクに対する内部管理態勢の適切性、有効性を検証し、リスク発生の可能性が高い業務について改善提案を行うことでリ

スクを軽減し、銀行の健全な発展を目的に実施しています。

監査役、監査法人と連携しながら、内部監査機能の拡充を図っています。

### 信用リスク

信用リスクとは、貸出やオフバランス取引等において、取引先の信用悪化に伴い、元本や利息の支払いが契約どおりに履行されず損失が発生するリスクのことで、銀行業務における主要なリスクのひとつです。

当行では、融資の基本姿勢を明文化した「クレジットポリシー」を定め、貸出の審査にあたっては、これを遵守するとともに、安全性・収益性・公共性・流動性・成長性を基本原則とし、事業計画や資金使途、返済能力などを総合的に評価し、厳正な姿勢で取り組んでいます。

当行では、特定先や特定業種への与信集中を回避し、リスクを分散する為に、大口融資先の管理方針を明文化した与信ポートフォリオ管理要領を定め、与信ポートフォリオのモニタリングを行い、貸出資産の健全化に努めています。

平成16年10月には、信用格付と自己査定を統合した新たな「格付自己査定システム」を導入し、与信先の実態把握を的確に行い、かつ、業況の変化に随時対応出来る体制を強化することにより信用リスク管理の更なる精度向上に努めています。

## 市場性リスク

市場性リスクとは、市場の変動により資産の価格が変動し損失が発生するリスクのことで、金利の変動によって発生する金利リスク、有価証券等の価格の変動によって発生する価格変動リスク、為替相場の変動によって発生する為替リスクなどがあります。また、市場での取引量を確保できないため、通常より著しく不利な価格で

の取引を余儀なくされることにより発生するリスク、市場流動性リスクも市場性リスクの一つとして捉えています。

当行では、証券国際部が市場性リスク管理を担当しており、総合企画部リスク管理グループおよび毎月開催されるALM委員会に報告し、検討、分析を行う体制となっています。

## 流動性リスク

流動性リスクとは、当行の信用状況等の変化または予期せぬ経済環境等の変化により、資金調達力の低下や資金流出が発生し、資金繰りが逼迫するリスクのことです。

当行では、半年毎に運用・調達のバランスを考慮

した資金計画を策定するとともに、月次・週次・日次で資金繰りを厳格に管理しています。また、万一の場合に備えてコンティンジェンシー・プラン（緊急時対応計画）を策定し、様々な事態を想定し対応できる体制を整備するなど、万全の措置を講じています。

## 事務リスク

事務リスクとは、役職員が正確な事務処理を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことによりお客様にご迷惑をおかけし、当行が損失を被るリスクのことです。

当行では、事務の多様化や取引量の増加に適切に対処し、お客様からの信頼を維持・向上させていくため、事務処理体制の整備・強化に努めており、具体的には「事務リスク管理マニュアル」の制定や、営業店の全行

員を対象に年2回実施する業務習得度合チェックなどを実施しています。

監査体制としては、監査部による本部各部門および営業店への内部監査の実施、本部各部門および営業店自らが行う店内検査、また事務部による定期的な事務指導臨店等により、内部牽制を図りながら本部と営業店が一体となって事務水準の向上に努めています。

## システムリスク

システムリスクとは、コンピュータシステムの停止や誤作動等の事故、不正使用、データの紛失・破壊・改ざん・漏洩等により、損失を被るリスクのことです。

システムリスクを回避するための安全対策は、お客様に質の高いサービスを提供する上で極めて重要なこ

ととを考えます。当行は、各種システムおよび設備の二重化等の安全対策を講じるとともに、事故を未然に防止するためのルールや、万一障害が発生した場合の詳細な対応方法を行内規定に定め、システムリスクに対し万全の体制で臨んでいます。

## その他のリスク管理

信用リスク、市場性リスク、流動性リスク、事務リスク、システムリスクなどのリスクのほかにも、悪質な噂や風説などによりお客さまや市場の間で当行の評判が悪化することにより、損害を被る風評リスクがあります。

当行では、「風評リスク対策マニュアル」を制定し、役職員の日ごろの心構えやリスクが顕在化した場合の対応策などを定め、風評リスクの軽減・極小化のための体制を整備しております。

## コンプライアンス体制

コンプライアンスとは「法令遵守」「企業順法」ということです。

この場合、法令遵守のみならず企業ルール、企業倫

理も含めた概念をさします。コンプライアンスの役割は法令等の違反を予防することであり、万一事故を起こした場合、その処理を誤らないようにすることです。

### コンプライアンス強化の取組み方針

お客様、株主の皆様をはじめマーケットから見た企業の価値を高めるには、コンプライアンスの強化が最重要と認識し取組んでいます。

役職員の法令等の遵守態勢確立のため、「私達の行動規範」及び「法令遵守ガイドンス」等を制定し、全役職員がこれらの遵守を宣誓しました。

### 具体的な取組み

コンプライアンスの組織として総務部担当役員をコンプライアンス担当役員に、総務部法務室をコンプライアンスの統括部署として明確に定めるとともに、

本部各グループ及び全営業店に法令遵守担当者を配置し、職場での啓蒙やコンプライアンス研修を行ってその浸透に力をいれています。

### コンプライアンスファイル

役職員全員が京葉銀行の企業倫理を確立するために「コンプライアンスファイル」を所持し、日常生活、業務行動における指針・手引書として活用しています。

#### 内容

- ・私達の行動規範
- ・法令遵守ガイドンス
- ・融資取組み時の規範
- ・反社会的勢力に関する対応マニュアル



### コンプライアンス・プログラム

コンプライアンス体制充実のための具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を各年度毎に取締役会（最高責任機関）で策定し、これに基づき行員のコンプライアンス研修や法務関連情報の提

供、銀行業務に関する法務相談、コンプライアンスに関する規定の整備、個人情報保護法等新たな法律施行への行内対応等諸施策を展開しています。

### 個人情報保護法への対応

平成17年4月より個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、当行はお客様の個人情報のお取り扱いに関する考え方・方針をまとめた「個人情報保護宣言」を制定し、全ての営業店の店頭に掲示するとともにインターネットのホームページ上にも掲載を致しました。この「個人情報保護宣言」に基づき、個人情報取扱いに関する諸規定等を定め、その適正な運営を

図るため各部署に個人データ管理者を設置するなど行内体制の整備を致しました。併せてデータの漏洩や毀損を防止するための技術的な安全対策を準備するなどシステム面でのセキュリティの向上も図っています。

今後も、行員に対する教育を徹底していくとともに個人情報の取扱い状況の点検・監査等を実施し個人情報保護の取組みに積極的に対応していきます。

### その他

役職員の法令遵守状況の監査モニタリングを客観的かつ中立的立場から行うべく、監査部、監査役により2次チェック、3次チェックを実施し、経営陣に対する適切な提言と、該当部店に対して必要な指導を

行っています。

また定期的に本部所管部による「コンプライアンス連絡会」を開催し、コンプライアンスに対する方針等を協議しています。

## コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

企業活動を律する枠組み、即ちコーポレート・ガバナンスが有効に機能することは、株主の皆様の権利・利益を保護し、平等性を維持する上で欠かせない要素であり、企業価値を高め、長期的にそれを維持していくことで、株主の皆様をはじめとする当行の全ての関係者

(ステークホルダー)の満足度向上に直結するものと認識しております。当行が企業としての社会的責任を果たすためには、コーポレート・ガバナンスの有効性を確保することが必要不可欠であり、以下のような体制の整備及び各種施策に積極的に取り組んでいます。

### 経営管理組織の内容及び内部管理体制の整備状況等

#### 経営管理組織の内容.....

当行は監査役制度を採用しております。監査役4名のうち半数の2名については、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であり、監査の透明性・実効性を高めています。監査役は、取締役会の他各種経営会議等に必要に応じて出席し、意見を述べています。

当行における経営の意思決定プロセスについては、取締役会の他、常務会や業務分掌規定及び職務権限規定等の行内諸規定に基づき意思決定を行う体制としています。また、弁護士や税理士と顧問契約を締結し、必要に応じて助言等を得ています。

当行が株主の皆様をはじめとするステークホルダーに対して責務を果たすため、取締役は善良なる管理者としての注意義務・職務に対する忠実義務を履行し、監査役(会)及び取締役会は、違法行為や社会通念上不適切な行為等の発生を未然に防止するための牽制機能を発揮しています。

#### 内部管理体制の整備状況.....

当行では監査部による検証を通じ、内部管理体制を強化し銀行組織の機能充実を図っています。監査部は、業務監査グループ3名、与信監査グループ2名、検査グループ17名の体制をとり、各部門のコンプライアンスやリスクに関する管理状況等について、諸法令や行内規定等との整合性や有効性を検証し、その状況を取締役や監査役及び取締役会へ報告しています。社外監査役を含めた監査役は、業務の執行状況について諸法令や行内規定等との適合性に関する監査を実施しています。また、事務リスクやシステムリスク等につきましては、内部管理体制の有効

性・適切性に関する監査を実施しています。

#### 会計監査の状況.....

当行の会計監査業務を執行した公認会計士は、新日本監査法人に所属する寺本哲氏、岩原淳一氏、増田正志氏の3名です。このうち寺本哲氏の当行に係る継続監査年数は28年、増田正志氏の継続監査年数は12年です。

会計監査業務に係る補助者は、公認会計士5名、会計士補2名です。

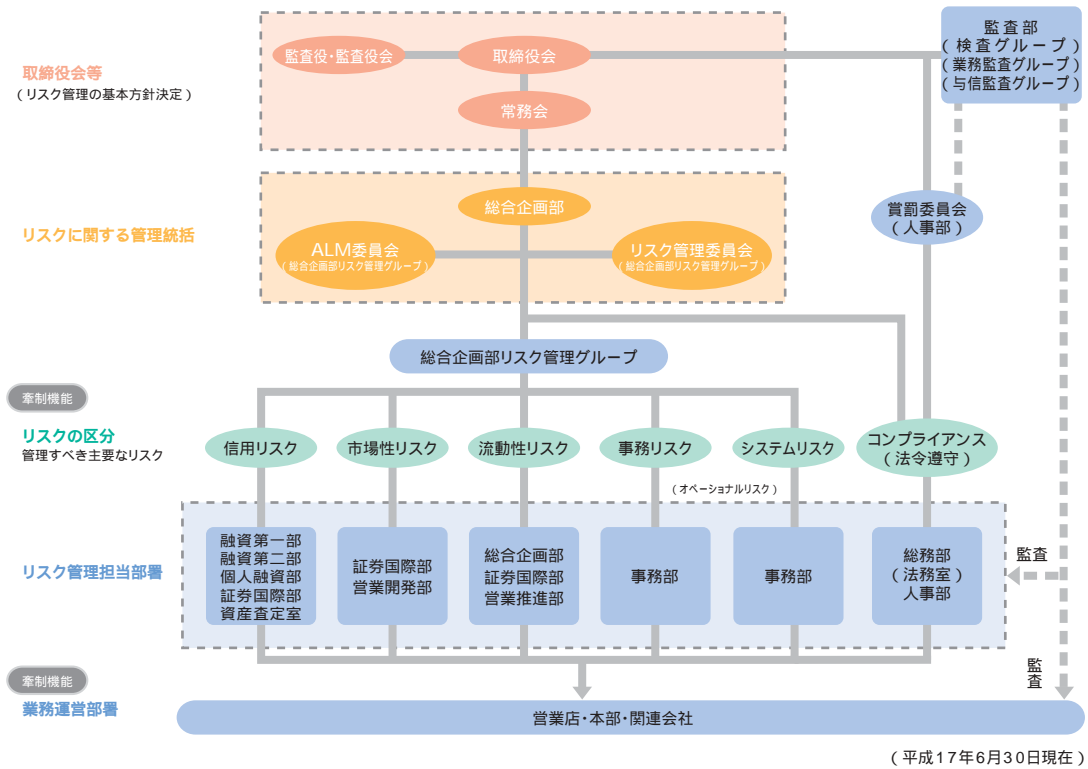
#### 社外監査役との関係.....

当行の社外監査役は勝又基夫、伊藤貞雄の2名です。社外監査役及びその親族が議決権を所有する法人に対しては、一般の取引条件と同等の基準で、資金の貸付を行っています。

当行の取締役及び監査役との人的関係や当行関連会社役員との兼任等はありません。



## リスク管理体制



## コンプライアンス体制図

